

## EX.全自動/半自動膨張救命胴衣(ライフジャケット)

モデルNo.  
NSI-ILA-A  
NSI-ILA-M

EX.全自動／半自動膨張救命胴衣をお買い上げ賜り、誠にありがとうございます。本製品はヨーロッパCE認定による国際安全基準ISO-12402-3に準拠した製品です。命に係わる必要な事態になった時、正しく使えるよう、製品受領後、すぐこの取扱説明書を熟読して下さい。

### ！重要

- 1) 着用する前にガス膨張装置が装着されているか、未使用のガスボンベが正しく取り付けられていることを確認して下さい。

(未使用か使用済かの見分け方：ポンベを取り外してポンベの先端に穴が開いていると使用済、穴が開いていないと未使用です。確認後は必ず未使用的ポンベを元の位置にねじ込み、戻して下さい。)

- 2) 胸囲が75cm未満か130cm以上の方は着用しないで下さい。

- 3) 気室からガス膨張装置を取り外さないで下さい。損傷する恐れがあります。

- 4) 突起物や鋭利なもの(針がついているもの・ボールペン・ハサミ等)は着用前に身体から取り外して下さい。気室生地を傷つける恐れがあります。

- 5) 救命胴衣は衣服の上に正しく着用して下さい。衣服の下に着用すると、膨張時に充分膨らまず、胸が圧迫され呼吸が困難になる恐れがあり危険です。

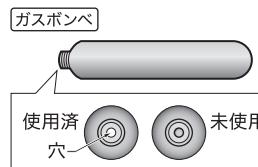
- 6) 水中に浮いている場合は救命胴衣を破損する恐れのある物には近づかないで下さい。気室を傷つけ、ガスが漏れる恐れがあります。

- 7) 救命胴衣の取扱時は火気厳禁です。気室生地はポリウレタン加工した生地で作られていますから、火気に近づけると気室生地に穴があき、救命胴衣が膨張しない恐れがあります。

- 8) 救命胴衣を着用する前に、気室に空気が入っていないことを確認して下さい。気室に空気が入っている状態でガス膨張装置を作動させると気室内圧が過大になり、気室が破損する恐れがあります。

- 9) 着用前に空気補充用チューブのキャップが閉まっていることを確認して下さい。キャップが開いているとガスが漏れるおそれがあり、危険です。

- 10) 膨張用作動引き紐(全自動膨張モデル、半自動膨張モデルとも)は必ず救命胴衣の外に出しておいて必要な時にいつでも引いて膨張できるようにしておいて下さい。



### ライフジャケットに関するお知らせ

- 1) 2018年2月1日からすべての小型船舶(モーターボート、水上オートバイ、漁船など、操船に小型船舶操縦士免許が必要な小型船舶で総トン数20トン未満の船舶及び船体長さ24メートル未満のプレジャーボート)の乗船者にライフジャケットの着用が義務化されました。

- 2) 本製品は国際安全基準BS EN ISO12402-3(ヨーロッパCE認定)に基づき製造されたライフジャケットですが、1)の我が国の安全基準は満たしていません。しかし小型船舶免許を必要としないミニボートやカヌー等の手漕ぎ舟に乗船している場合はその限りではありません。

- 3) 詳細については以下の国土交通省のホームページを参照下さい。『海事:ライフジャケットの着用義務拡大-国土交通省(mlit.go.jp)』  
[https://www.mlit.go.jp/maritime/maritime\\_fr6\\_000018.html](https://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_fr6_000018.html)

### 仕様

- サイズ(約): 膨張前 広げた時 タテ67 × ヨコ61 × 厚さ3cm ● 重さ(約): 全自動膨張モデル 670g / 半自動膨張モデル 640g
- 膨張用ガス種類 / 重さ: 炭酸ガス / 33グラム ● 材質: [外側] PU加工オックスフォードポリエステル / [内部気室] TPUナイロン複合地 ● 國際安全基準BS EN ISO 12402-3 ヨーロッパCE認定 ● 原産国: 中国

### メンテナンスと保管方法

- 1) 気室に汚れや塩分がついている場合は水を含ませた布等で軽くたたくようにして拭き取ってからハンガー等に掛けて陰干しして下さい。
- 2) 汚れ落としてガソリンやシンナー等の溶剤を絶対使用しないで下さい。劣化の原因となります。
- 3) 全自動膨張モデルは、ガス充填装置に水が入ると自動的に作動する恐れがありますから、水がかからない所や湿気の少ない所に保管して下さい。
- 4) 直射日光の当たる場所に保管しないで下さい。
- 5) 暖房装置の近く等、高温になる場所に保管しないで下さい。
- 6) 物の下積みにしたり、幼児の手の届く所に保管しないで下さい。

### 膨張作動後の部品交換 (輸入総発売元へご連絡下さい)

- 1) ガス膨張装置を一旦作動させたら(全自動/半自動膨張モデル)、再度使うためには、ガスボンベを交換し、点検する必要があります。
  - 2) 本製品は命に係わる大切な製品です。購入6年後に膨張装置の定期点検とガスボンベの交換が必要です。点検と交換は必ず当社宛てご連絡下さい。
- 点検・交換費用(送料込): 全自動モデル ¥3,300 / 半自動モデル ¥2,200 ※価格は予告なしに変更することがあります。

### 使用期限について

以下の場合は使用を中止して部品の交換を行って下さい。

- 1) 炭酸ガスボンベについて

① 購入後5年を経過した炭酸ガスボンベ ② 傷、打痕、さび、変形がある炭酸ガスボンベ

- 2) 上記以外の消耗品について

炭酸ガスボンベに限らず下記の場合は全て使用禁止です。修理ができない場合は新しくお買い求め下さい。

① 救命胴衣の気室が破損している時。 ③ 腰ベルト、バックル等が破損している時。

② 空気充補用装置が破損している時。 ④ 面ファスナー等の縫い糸のほつれ、ほころび、切れ等がある時。

### 保証規定(持ち込み修理)

取扱説明書に従い、正しく使用されたにもかかわらず、製品が故障した場合、下記規定に従って保証致します。お買上10日間以内の初期不良を除き、持込修理となりますから、製品受取後すぐに動作確認及び付属物が揃っているか、ご確認下さい。

保証書: 本取扱説明書と、お買上時の領収書又は納品書の両方が、保証書となります。修理等をご依頼の際には、両方の書類のコピーをご提示下さい。ご提示が無い場合は保証致しかねますので、関係書類を大切に保管して下さい。

保証期間: お買上後1年間。修理又は交換後も保証期間は最初のお買上後1年間とします。お買上後10日以内に、判明した初期不良の場合は、当社にて商品を引取り、修理後お客様に返送しますので、お客様相談室にご連絡下さい。

保証内容: 故障・不具合の原因が、製品の不良と判断された場合は、修理又は同等の代替品と交換させて頂きますが、それ以上の責は負いかねます。保証期間後に故障が発生し、修理不可能と判断された場合、ご希望により同等の製品を特別価格で提供させて頂く事もあります。

持込修理: 修理ご希望の場合は、まず当社お客様相談室にご相談下さい。初期不良期間を除き、保証期間内であっても、商品をお客様ご自身で当社へお持込み頂くか、お客様のご手配で当社へお送り頂く、持込修理です。修理後のお客様への返送は、保証期間内の場合は、当社にて手配いたしますが、故障や不具合でなかったり、その原因が誤った取り扱い等、お客様の責となる場合は、修理費及び送料を着払いにて返送させて頂きますのでご了承下さい。又当社の了承なしに、製品を着払いで送られた場合は、受取をお断りしますのでご了承下さい。

下記の場合には保証期間内でも有償修理とさせて頂きます。

- ① 本取扱説明書記載の、ご使用者による初期点検(お届け時の動作確認)、定期点検をされていない時。② お客様による改造・加工や修理を起因とする故障。③ 不適当な取り扱い又は使用による故障。④ 火災、地震、水害、異常気象天変地異等、原因が本機以外の理由による故障又は損傷。⑤ ご使用後の外装面の傷、破損、外装部品、付属品の交換。⑥ 本取扱説明書通りに正しく使用されなかった場合。⑦ お買上を証明するレシート・納品書等の提示がない場合。

当社は防災用品のエキスパート。非常に役立つ豊富な製品を提供しています。下記ホームページに全商品を掲載しています。

### EX.自動膨張救命胴衣 輸入総発売元



株式会社 メテックス  
〒106-0044 東京都港区東麻布3-3-9  
アネックス麻布十番オフィス3階  
TEL03-3589-3300 www.metex.co.jp/

### お客様相談室

TEL: 03-3589-4555  
(土・日曜・祝祭日・年末年始を除く平日9:15~17:15)  
FAX: 03-3589-5500 (24時間受付)  
E-mail: metex-master@metex.co.jp

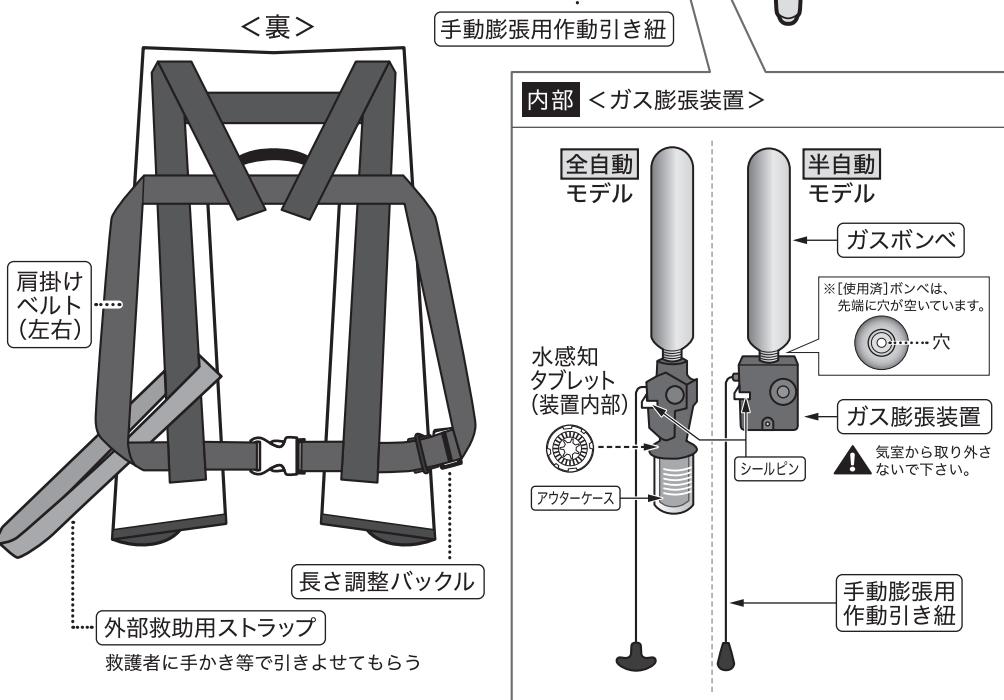


メテックス 検索

## 膨張前

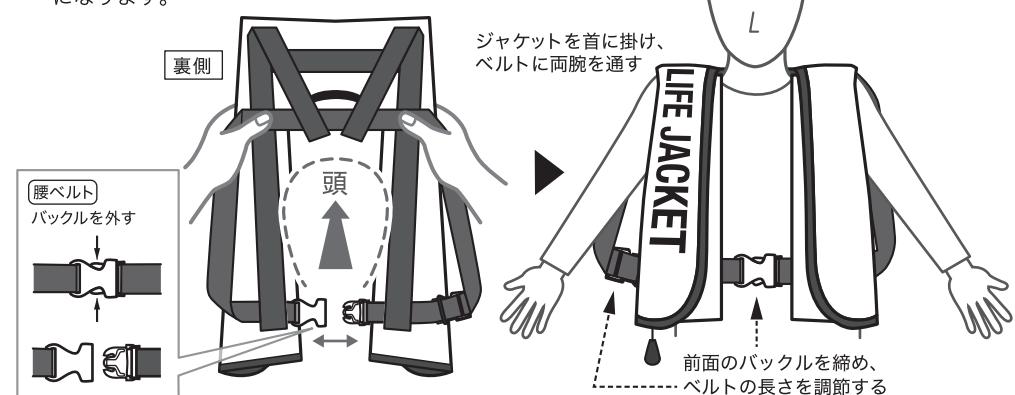


## 膨張後



## 着用方法

- 腰ベルトのバックルの上下のつめ部分を押してバックルを外します。
- マジックテープを外さないで「LIFE JACKET」の文字を前に向けて両手の親指でベルトを押さえながら首から掛けます。
- 右腕を右についているベルトに通します。左腕も同様にします。
- 前にあるバックルを力チャッと音がするまで差し込んで下さい。
- 右側にある腰ベルトの長さを調節して救命胴衣を身体に密着させます。正しく着用すると下図のようになります。



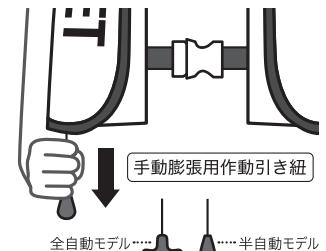
## 膨張作動方法

### 手動 (全自動膨張モデル/半自動膨張モデル 共通)

「手動膨張用作動引き紐」を強く引くことにより、ガス充填装置が働き氣室を膨張させます。

### 自動 ※全自動膨張モデルのみ

水中に入ると救命胴衣内部に取り付けられた感知装置が作動し、ガス充填装置を作動し、気室を膨張させます。



## 膨張後の空気補充操作

### 1) 空気補充操作

この補充操作は気温や水温の変化等に対して気室内の内圧が低下し、十分な浮力が得られなくなった時に使用します。空気補充用チューブのキャップをはずして直接口でくわえて、息を吹き込むことにより、空気を補充できます。



### 2) 排気操作

このチューブは救命胴衣の使用が終わって収納する際、気室内の炭酸ガスや空気を抜く時にも使用します。キャップを反対側にチューブに入れると排気します。終わったら元の位置でキャップを閉めて下さい。

